

# 紀の体

 和歌山市管工事業協同組合



金剛峯寺の紅葉(高野山)

URL <http://www.w-kankoji.com>

E-mail: [wakayama@w-kankoji.com](mailto:wakayama@w-kankoji.com)

## 「金剛峯寺の紅葉」

高野山は日本では他に例を見ない宗教都市である。その金剛峯寺は、和歌山県伊都郡高野町高野山にある高野山真言宗総本山の寺院である。真言宗の宗祖である空海（弘法大師）が宗教活動の拠点とした寺で、弘法大師信仰の山として、21世紀の今日も多くの参詣者を集めている。2004年には世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部として登録された。

紅葉の10月末～11月上旬には、多くの参詣者が紅葉の高野山を訪れています。

## － 目次 －

「災害時応援協定」締結

－ 和歌山県と和歌山県管連 － …… 1

役員会報告 …… 3

組合の動き …… 4

青年部の動き …… 5

雑学の泉 …… 8

会社訪問 …… 9

趣味のコーナー …… 10

編集後記 …… 11

# 「災害時応援協定」締結

— 和歌山県と和歌山県管連 —



右より、山下直也県議会議長、濱本黎二専務理事、仁坂吉伸県知事、小向俊和会長、西岡廣秋副会長、武井昭和副会長、木本勝秀副会長

和歌山県と和歌山県管工事業協同組合連合会は、去る8月1日県庁知事室において、「災害時における水道施設復旧作業の応急対策への協力に関する協定書」が、県側からは仁坂吉伸知事をはじめ担当部署である環境生活部の幹部の方、県連合会側からは、小向俊和会長、副会長、専務理事が出席、山下直也県議会議長（当組合顧問）の立会いのもと、調印式がとりおこなわれました。

災害時の応援協定については、和歌山市水道局と当組合との間で平成12年6月1日付で「災害発生時における水道施設の応急復旧の応援に関する協定書」を締結、協定に基づき和歌山市主催の防災訓練への参加等、対応しています。又、県連合会傘下の組合では、それぞれの市町村との間で災害協定を締結して対応していますが、県内には組合のない市町村、日本水道協会にも属していない水道事業者もあり、予想される南海・東南海地震等大規模災害への対応が、個別の市町村と地元業者だけでは、対応しきれない状況が考えられることから、和歌山県下全体をカバーできる復旧協力体制の確立が求められていました。今般の協定締結は、昨年発生した台風12号による那智勝浦町への当組合の応急復旧の実績を踏まえ、協定締結となったものです。



産経新聞 平成24年8月7日火より

## 災害時における水道施設復旧作業の応急対策への協力に関する協定書

## (趣 旨)

第1条 この協定は和歌山県地域防災計画で想定する大規模な地震・水害などの各種災害の事故（以下「災害等」という。）が発生した場合に、災害等によって被害が生じた水道施設の応急復旧に関し、和歌山県（以下「甲」という。）と和歌山県管工事業協同組合連合会（以下「乙」という。）との協力事項を定めるものとする。

## (協力要請)

第2条 甲は、災害発生時において、被災市町村もしくは水道事業者（以下「市町村等」という。）からの要請に応じ、乙に対し、応急復旧について協力を要請するものとする。

2 甲は、乙に協力を要請する場合は、次の事項を明らかにして、文書により行うものとする。ただし、緊急の場合は、電話等により事前要請を行うことができる。

(1) 協力要請市町村等 (2) 災害が発生した場所 (3) 被害の状況 (4) 応急対策の内容  
(5) 必要な資機材及び人員 (6) 協力が必要な期間 (7) その他必要な事項

3 乙は、前項の規定により要請を受けたときは、速やかに応急対策を行うための体制を確立の上、可能な限り協力するものとする。

4 前項の規定により出動した乙の会員及び所属員は、市町村等が設置する災害対策本部または市町村水道災害復旧担当部局の指示により応急対策に従事するものとする。

## (報 告)

第3条 乙は、応援対策が終了した場合は、その旨を甲に報告するものとする。

## (費用負担)

第4条 第2条の要請に基づき乙が実施した応急対策に要した費用については、災害等発生直前における適正な価格を基準として、市町村等と乙の協議により決定し、市町村等が負担するものとする。

## (災害補償)

第5条 第2条の要請に基づき乙が実施した応急対策により生じた災害補償については、乙と市町村等で協議するものとする。

## (被災した他の都道府県への応援)

第6条 甲が、被災した他の都道府県からの要請に応じ水道施設の復旧作業に係る応急の応援を行うため、乙に協力を要請した場合においても、乙は、この協定に準じて、可能な限り協力するものとする。

## (連絡体制等)

第7条 この協定に関する連絡窓口は、甲においては和歌山県環境生活部県民局食品・生活衛生課、乙においては和歌山県管工事業協同組合連合会事務局とする。

2 甲及び乙は、協力活動に係る情報伝達を正確に行うため、あらかじめ連絡責任者等の連絡体制を定めるものとする。

## (協 議)

第8条 この協議の実施に関して必要な事項又はこの協定に定めのない事項については、その都度甲乙両者が協議して定めるものとする。

## (有効期間)

第9条 この協定は、締結の日から効力を有するものとし、甲又は乙が文書をもって協定の終了を通知しない限りその効力を持続する。

本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印の上、各自1通を保有する。

平成24年8月1日

甲 和歌山県知事 仁 坂 吉 伸

乙 和歌山市南中間町12番地  
和歌山県管工事業協同組合連合会  
会 長 小 向 俊 和

# 役員会報告

## 6月度 定例役員会

1. 開催日時 平成24年6月12日(火)  
午後5時30分より
1. 開催場所 役員会議室
1. 役員定数 理事10名、監事2名
1. 出席役員 理事8名、監事1名

議事の概要は次のとおり

**第1号議案 第66回通常総会の費用精算について**  
議長の命により事務局長から、第66回通常総会の費用精算について別紙により詳細説明があり、承認を求めたところ全員異議なく承認される。

**第2号議案 平成24年度親睦旅行について**  
議長の命により事務局長から、平成24年度の親睦旅行について、予算は計上しているが、近年の参加状況を考慮し、今年度は見送りたい旨提案。全員異議なく了承した。

### 報告議題

事務局長より下記の項目について報告があり、全員異議なく了承した。

1. 組合員の代表者変更について  
山下水道店  
代表者 山下繁夫 → 代表者 山下滋己
2. 平成24年度 給水装置工事主任技術者試験について
3. 消防設備士資格取得のご案内
4. 「職長・安全衛生責任者（リスクアセスメント導入）」開催について
5. 平成24年度 登録配管基幹技能者講習会のご案内

## 7月度 定例役員会

1. 開催日時 平成24年7月11日(水)  
午後5時30分より
1. 開催場所 役員会議室
1. 役員定数 理事9名、監事2名
1. 出席役員 理事8名、監事2名

議事の概要は次のとおり

**第1号議案 お盆の業務体制について**  
議長の命により濱本事務局長から別紙により提案、原案どおり8月13日(月)から8月15日(水)まで、休業とすることで、全員賛成にて可決。

**第2号議案 紀州おどり「ふんだら節」への参加について**  
議長の命により事務局長から例年どおり和歌山市からの参加要請により、青年部を中心に参加することを提案、全員賛成にて可決。

**第3号議案 青年部半袖ブルゾンの購入について**  
議長の命により事務局長から、従来は夏場でも諸行事への参加の際、長袖のブルゾンを着用していたが、今般夏用に半袖ブルゾンを作成着用したい旨、別紙見積書により提案、全員賛成にて可決。

**第4号議案 平成24年度親睦旅行について**  
議長の命により事務局長から、6月の定例役員会で本年度の親睦旅行を見送るとしていたが、

紀南地方の元気を応援する為、再度担当役員で企画してみてもどうかと云う意見もあり、担当役員で再検討する旨、了承を求めたところ全員異議なく了承した。

### 報告議題

事務局長より下記の項目について報告があり、全員異議なく了承した。

1. 平岡理事の辞任について  
平岡理事より一身上の都合により、辞任願いが提出された。
2. 計画停電について
3. 顧問の山下直也先生の県議会議長就任パーティについて
4. 厚生労働大臣表彰（候補）について
5. 「長期使用安全点検制度」に基づく所有者登録について
6. 地山の掘削・土止め支保工作業主任者講習の開催について
7. 平成24年度「水道事業実務必携」の斡旋について
8. 紀ノ川一斉清掃と親睦バーベキュー大会（青年部）開催について

# 組合の動き

## 第44回紀州おどりに組合連が会場



さっそうと踊る組合連



蛇口から水? ジェットスモークです!

夏本番の8月4日土曜日の夜、和歌山市の夏の風物詩、紀州おどりのニューバージョンのふんだら21と正調ふんだら節が繰り広げられ、私たち組合も「正調ふんだら節」の部に出場しました。

毎年の市民祭りへの参加は、普段より水道管の漏水修繕工事や宅内のメンテナンス工事で関わりの深い和歌山市民に対して、水道の指定工事店とその指定工事店で構成する組合を周知することです。また、組合員・従業員家族、組合職員が一緒に踊り、親睦と連帯感を深めています。

今年の組合連は、大人と子供を合わせて85名が参加しました。踊りの出番は、仕事の関係で夜の8時前です。出番を前に夕方出陣式を開催し、現場を終えた組合員や従業員の方々が、家族を連れて組合に集まり、準備されたピザやおにぎり、手づくりの鳥のから揚げやフライドポテト、サラダにお腹を満たし、子供たちは会場で遊びを繰り広げ、それぞれのグループも和気あいあいとお祭り気分が盛り上がっていました。

出陣式の後、夕暮れの踊りの会場・けやき通りに順次移動です。ふんだら節の音楽と会場アナウンスが流れるなか、通りには半被や浴衣、彩り豊かなコスチュームの出場者であふれ、お祭り気分いっぱいでした。会場には一足先に待機している青年部手作りの山車があり、大きな照明バルーン、白い煙を出す大きな蛇口と配管が設置されています。今年こそは、蛇口から水ならぬ白いけむりを勢いよ

く出す仕掛けがされているとか。

私たち組合連は水をテーマにしています。爽やかな青い浴衣姿の女性陣を先頭に、山車曳きを卒業した子ども陣がおどり、その後を「町の水道屋さん」をアピールした山車をちびっ子たちが曳き、連の最後は、青い半被の男性陣で締めて、踊りの街道700mを元気いっぱい踊りました。

ふんだら節を踊りたいと希望した子ども連の楽しそうな踊り、ちびっ子たちの曳く山車の蛇口から噴射する白いけむりなど、沿道の方々も足を止めて見ていました。踊り終えた後のみんなの笑顔が輝き、暑さも吹き飛んでいました。

こんなに楽しいふんだら踊りです。まだ参加されていない方々も、来年は是非一緒に楽しく踊りましょう。踊りも簡単で、すぐ踊れますよ!



山車を曳くちびっこたち

# 青年部の動き

## 河川愛護月間行事 紀の川一斉清掃に参加



紀の川河川敷 清掃

する関心を高める良い機会だと思っています。

日曜日の早朝にもかかわらず、多くの皆様にご参加頂きありがとうございました。

清掃終了後は、もう一つの楽しみである親睦バーベキュー大会が、和歌浦漁港で開催されました。やはり、漁港と言えば魚釣り！で、バーベキューのかたわら魚釣りを楽しむ子供たちがたくさん目立ちました。大きい魚を釣り上げた子供さんもあり、

国土交通省主催の紀の川一斉清掃が、7月22日(日)に紀の川河川敷で開催されました。朝から真夏日の暑さにもかかわらず、組合員、従業員を始め、家族並びに事務局、合わせて総勢70名が参加の清掃活動となりました。

国土交通省では7月を河川愛護月間と定め、地域住民、市民団体、関係行政機関等の協力を得て、流域全体の良好な河川環境の保全・再生を積極的に推進するとともに、河川愛護の意識の醸成を図っております。紀の川においても河川愛護月間の運動として毎年河川敷で一斉清掃を行なっています。


清掃は、午前8時30分集合、清掃活動を開始し、清掃区域は例年同様、南海電鉄鉄橋～河西橋の間で、今年も和歌山市水道局の皆さんと一緒に同じ区域を担当しました。河川のゴミは年々少なくなっていますが、参加者をはじめ子供たちにはボランティア活動を通じて、自然環境に対

最後まで魚釣りを楽しんでいました。ただ、恒例の遊覧船での周遊が、波の状態が悪くて中止になってしまったのが残念でした。また、バーベキューでは、用意したお肉・おにぎり・焼きそばなど、すぐにたいらげてしまい、中でも、濱本事務局長が揚げてくれたフライドポテトは今年も大人気でした！



和歌浦漁港でのバーベキュー大会

## エコクラブ探検隊2012

 三田小学校4年生



「水のリサイクル」をテーマとした、エコクラブ探検隊2012が、7月2日(月)当組合青年部により、開催されました。

エコクラブ探検隊は全管連青年部協議会の環境問題研究事業の一環として始まり、当組合青年部に於いても通年のボランティア事業として定着しています。

参加小学校は、和歌山市教育委員会の協力により、今年三田小学校で、4年生（2クラス）の児童の皆さんが見学しました。

貸切バスで、真砂浄水場（和歌山市水道局）・紀の川大堰「水ときらめき紀の川館」（国土交通省）・中央終末処理場（和歌山市下水道部）の3施設を見学して、上下水道のしくみと水の大切さを勉強していただきました。浄水場施設は、今年も加納浄水場が工事中で見学できなかった為、和歌山市で一番古い（大正14年）真砂浄水場を見学しました。移動手段は、今年は2クラスを交互に、1台の大型バスでのピストン運行となりましたが、各施設の方々の適切な誘導と説明、車の渋滞にもあわなかったことで、予定していた時間内（8:30～14:50）に無事終了することが出来ました。

台風の影響で1度目は開催中止となり、2度目の日程も雨天中止が危ぶまれましたが、児童たちの熱意が通じたのか、当日は透き通るような晴天に恵まれ、夏休み前に開催することができました。

この施設見学を通じ、水道と私たちのくらし、水が家庭に届くまで、水道の仕事などを学んでもらいましたが、もっと多くの子供たちにも理解して頂けるよう、これからも続けていきたいと思えます。

児童たちからの感想文を、一部ご紹介させていただきます。



真砂浄水場

## 三田小学校 四年 小松春花

最初に行った、真砂じょう水場では、薬品などは、あまり使わず、自然の力で、エビや、シジミやび生物がはたらいてくれて、自然と共どうしているんだなと思いました。

次に行った、水ときらめき紀の川館は、近くに紀の川大せきと、魚道があって、地下に魚道のようなすが見えて、「いっぱい魚が来るんだな。」と思いました。

中央終末しより場は、最初はすごくにごっていたのに、最後にはそこが見えるくらいにきれいになっていて、「これじゃ、どうりで川がきれいなわけだよ。」と思いました。水はやっぱりすごいです。

## 三田小学校 四年 高岡星良

7月2日に社会見学に行きました。いろいろなきかいで水をきれいにできてびっくりしました。水をきれいにするには、び生物だけだと思っていたけど、真砂浄水場では、えびがび生物を食べるって教えてくれました。どうやって水をきれいにしているか知らなかったけど、3つの場所に行き、いろいろな事が分かったし、水ときらめきかんでは、ゲームでべんきょうができたし、一番上からは、ダムもみえてすごかったです。

## 三田小学校 四年 高橋叶雪

わたしが心にのこっている所は、「中央しゅうまつしより場」(下水しより場)です。ここは、一番心にのこっていて一番さい後にいった所です。「中央しゅうまつしより場」の外はもうしわけないけど少しくさかったです。なぜ少しくさいにおいがするのかきもんに思いました。

そして中に入るとえいがのような物を見ました。そこでは、日本で一番はじめに下水道がつくられたのは、めいじ17年、外国で一番はじめに下水道がつくられたのは



魚道観察室(紀の川大堰)

ロンドンでした。えいがが終わって外に出て水をきれいにしているしより場の中に入りました。中はプールのにおいがしました。水の色を見るとはじめはすごく黒色だったけど、だんだん茶色からとうめいのきれいな色にかわっていきました。すごくてのしかったです。

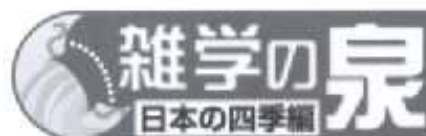
## 三田小学校 四年 おくやあやか

わたしは、水ときらめき館という、場所について、ダムをはじめてみました。ダムは、本でみるよりほんものの、ほうがとてもでかかったので、びっくりしました。そして、ひみつばに入ると、水がながれているのをみて、そこには、魚がいました。魚は、こんなところにいるなんて、いいな~と思いました。またもういちど、いってみたいです。



中央終末処理場





## クイズ 紅葉を科学します!

季節は秋になり、紅葉の季節になりましたが見ごろまでにはもう少しかかるようです。

突然ですが、ここで問題です。

### 1. 紅葉（こうよう）って何？

- A. 葉が落ちる前に葉の色が変わる事
- B. 葉が落ちた後に葉の色が変わる事
- C. 葉が落ちる前に幹の色が変わる事
- D. 葉が落ちた後に幹の色が変わる事

### 2. 日本で紅葉（こうよう）が起こるのはいつ？

- A. 春 : B. 夏
- C. 秋 : D. 冬

### 3. 黄色く紅葉（こうよう）するのは？

- A. カエデ : B. イチョウ
- C. ツツジ : D. サクラ

### 4. 気温がどのくらいになれば紅葉（こうよう）が始まる？

- A. 1日の最高気温が20℃以上になったとき
- B. 1日の最低気温が20℃以下になったとき
- C. 1日の最低気温が8℃以下になったとき
- D. 1日の最高気温が8℃以上になったとき

問題1の答えはAです。

植物の種類によって葉の色が赤や黄色、茶色に変わります。

問題2の答えはもちろんCです。

日本では、9月の終わりから12月にかけて北の方からあるいは高い所から順番

に紅葉が始まります。春の桜前線のように紅葉前線というのもあります。

問題3の答えはBのイチョウです。

イチョウのように葉の色が黄色くなる場合も紅葉といいますが、黄葉という言葉もあり、どちらも「こうよう」と読みます。ややこしいですね。

4問目の答えはCです。

秋になり1日の気温が下がると、木は葉を落とす準備を始めます。

赤く紅葉する木は、葉の中にたまった炭水化物が分解されて赤い色素に変わり同時に緑色の葉緑素が破壊されて葉の色が赤くなっていきます。

葉が黄色く変わる木の場合、黄色の色素がはじめから葉の中にありますが、葉緑素の緑色にかき消されて葉は緑色に見えます。秋になり葉緑素が分解して緑色が薄くなると元からあった黄色の色素が強くなり黄葉（こうよう）するという仕組みです。

紅葉は夏が高温で秋になって急に冷え込むと色鮮やかになるといわれています。例年の見ごろは11月頃ですが今年はどうでしょうか。

皆さんも秋晴れの気持ちのいい日に紅葉狩り（もみじがり）に出かけてみてはいかがでしょうか。



会社訪問



おじゃマンⅡ号の  
**儲かりまっか**  
 大 換

会社概要

代表取締役 **岡本 聖治**  
 昭和34年5月12日生 53歳

設 立 昭和30年9月 先代 岡本美千夫氏が岡本水道店を設立  
 昭和41年11月 三和興業株式会社に  
 平成15年5月 聖治氏が代表取締役に就任

従業員数 4名(現場技術者3名 事務職1名)

工事概要 一般住宅給排水衛生設備工事・給配水管改善工事・メンテナンス工事等

資格等 2級管工事施工管理技士・浄化槽設備士・浄化槽管理士等

モットー 「信用第一、地元の皆様に信頼される水道工事店として、誠実に仕事に取り組んでいます。」「誠実・丁寧・迅速」

家 族 母・妻・子供3人(社会人・大学生・大学生)

趣 味 学生時代は空手・テニス・スキー  
 最近は映画鑑賞(奥様と)

おじゃマンⅡ号の会社訪問は、ロゴシリーズ第2弾紀州の「三本の矢」こと「三和興業株式会社」を紹介いたします。

おじゃマンⅡ号：岡本社長、先代が株式会社にするときに「岡本水道店」から「三和興業」に名称を変更してありますがどうして「三和」になったんです？



岡本聖治社長

岡本社長：長女・次女・私の三人姉弟だったので「三人力合わせて」という願いを「水」の字の両方をぐるっと丸く伸ばして○、もう一つ○を入れ、三人の輪(三和)、会社を興すで「三和興業」それが会社のロゴに「



三和興業株式会社  
 和歌山市船所108-9

おじゃマンⅡ号：なるほど一、先代の思いが込められているんですね。やっぱり姉弟仲ええんでしょね。

岡本社長：仲ええというより、今、そこに座ってるやろ、私の姉(次女)です。

おじゃマンⅡ号：えっ!おねーちゃん!! 流行の、年の差婚の若い奥さんの事務員さんじゃなかったんですね。そーだったのが!「美魔女」だったのがー!

岡本社長：おじゃマン、昔から知ってるやろ(管組合がぶんだら踊りに初参加するため、いっしょに本部の3Fで猛特訓しました、2晩も!)気一、若いで一、台風5人組「○」のファン倶楽部でコンサート(京セラドーム、も行くで一。「松健」とちゃうで一!

「職場の花」シリーズ第7弾と今も元気な「現役看板娘」を紹介いたします。



おねーさんの田村栄美(エミ)さん、二十歳の年、初代事務員をしていた長女の結婚、寿退社、突然の先代の鶴の一声、花のOL(銀行)をやめ「職場の花」に、管組合が東急インの近くにあった頃から行きます。「大奥の姫様・局様」、皆さんすべて存じ上げております。ぶんだら節は踊りました。松健サンバは踊りません!今も元気な初代「看板娘」(岡本ただ丞おかーさん・87歳・大正13年生)と共に、「嵐」にも耐え抜いて、いつの日も職場に「花」を咲かせます。

(Uちゃん 筆)

趣味のコーナー



Uchiちゃんの  
**何と!**  
驚きました

**歴史秘話—ヒストリア**  
(水道組合編)

Uchiちゃんの「何と驚きました。組合秘話」第4弾は、鹿児島・指宿に生まれ、大阪・神戸・広島・高松へと転勤生活乗り越えて、和歌山・紀の川市へと、薩摩の篤姫から、1級建設業経理士・キャリアコンサルタントなど数々の刺客士の異名を持ち、今や紀州の「大奥」取締役を今年で30年務める、卍字流・生花師「伊津友」元姫様(現・局様?)、高橋伊津子(管組合本部勤務・世話好きのO型)の「焼酎・日本酒・ビールにワイン—お酒とハーブと野菜の健康生活」物語を語ってもらいます。

Uchiちゃん：高橋さんて薩摩生まれだったんですね?しらなんどー。

伊津姫様：「隠蔽工作」していたんとちがうけど、私が知ってる「〇〇維新」の頃は、徳川御三家・紀州藩と外様・薩摩藩は仲が悪かったでしょう。そやから主人(旧・打田町)と、大阪で結婚して以来、紀州に住んだら「いじめ問題」や「領土問題」が「勃発」したら?っと思って身も細くなりました、そやけどいざ住んだら、みかんに柿にイチゴにキーウィ、桃にイチジク、「紀の水」は美味しい、楽しいし、「和歌山」ってええとこやわー。…30年…

今は、家に帰れば、畑で「わかやまのおばちゃん!」目指して奮闘中。



Uchiちゃん：そーだったのか!「人の交流の歴史」も「和」の一つですねー。聞くとこでは、野菜作りが趣味だそうですけど、何か「こだわり野菜」は?

伊津姫様：主人の実家に畑が300坪ほどあるので、一般的な夏野菜や冬野菜も作ってるんですが、料理が好きなので(ご主人が料理研究家で料理の本を何百冊も読んでいる、二人でレストランにも調査に



高橋伊津子さん  
和歌山県華道家協会いけばな展にて

も…、ちなみに料理をするのは高橋(伊津子)さんだそうです。) ついつい料理に使う野菜作りに凝っています。例えばイタリア料理用の野菜も多種類栽培中(コールラビ?・ロマネスコ?・ブントレッタ?・アーティチョーク?…という感じで)それも近くでは苗や種を売っていないのでインターネットで取り寄せたりとか、アップルパイには「紅玉」と、りんごの木もこだわって植えました、お酒に合う料理を考えると、それに使う野菜を考えて栽培してしまう。ついには、ハーブ作りも始めてしまい20種類以上栽培、さらにはハーブ教室にも通ってしまい「料理」や「ア



庭のラベンダー

ロマ」の研究にも凝ってしまいました。(※ちなみに最近流行の〇〇ハーブではございません。)

Uchiちゃん：それだけしてたら忙しいでしょう?一般的な野菜もいろいろ栽培しているみたいだし。

伊津姫様：30種類以上栽培してる、忙しいわー、畑の管理は主人が年間スケジュールまで作ってくれてるのでたすかるけど、それでも最近は主人も私もそれぞれ「こだわり野菜」があり、植える場所も限られるので高橋家の畑にも「領土問題」が勃発しそうです。さらには「家庭内トラブル」が「再稼働」?再浮上!、近所で野菜や果物を頂くので山椒は佃煮、竹の子は水煮、梅干・苺やブルーベリージャム・バジルペースト等など加工品作りにも凝ってしまい2台の冷蔵庫は満タン状態。

Uchiちゃん：お酒とハーブと野菜で健康生活、二人の仲も「ハート」で満タン状態♡ですね!



楽しみのみかんの収穫



## 編 集 後 記



寒さが感じられる季節となってまいりました、組合員の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

今年になって、天気予報で「これまでに経験したことのないような大雨」といったような表現が使われるようになりました。また東日本大震災を教訓にして、東南海地震による津波の災害被害想定も大幅に変更され、海岸沿いの町は壊滅的な被害が予想されています。これまでの想定範囲を超えた災害が次々と発生しているなかで、私たちは防災、減災に力を注いでいかなければなりません。

管工事組合も和歌山県、和歌山市等と防災協力をして活動を行っています、これまで以上の皆様のご協力をお願いいた

します。

きて本誌も第33号となりました、長らくのご愛読に感謝いたします、これまで組合並びに組合青年部の活動、皆様に役立つ情報、組合員のご紹介などを中心に構成を行ってきました。

これからもより良い情報をご提供していきたいと思っております、また特集記事のご要望や趣味、会社の紹介コーナーのご紹介などがございましたら、事務局までご連絡ください

(編集委員 S生)



## ■組合だより 紀の水

●発行  和歌山市管工事業協同組合

理事長 小 向 俊 和

●編集 紀の水編集委員会

〒640-8251 和歌山市南中間町12

TEL(073)436-6801

FAX(073)436-6804

URL <http://www.w-kankoji.com>

E-mail:wakayama@w-kankoji.com